

令和3年 12月末現在 業種別労働災害発生状況(休業4日以上)

佐渡 労働基準監督署

業種	区分		対前年同期比較		事故の型												
	元 年 全数	2 年 全数	2 年 同期	3 年 当期	増減		墜 落 ・ 転 落	転 倒	激 突	飛 来 ・ 落 下	崩 壊 ・ 倒 壊	激 突 さ れ	巻 は 込 ま ま れ	切 れ ・ こ す れ	無 理 作 な の 動 反 作 動	交 通 事 故	そ の 他
					件 数	%											
製造業	4	3	3	5	+2	+66.7	0	0	0	0	1	0	3	1	0	0	0
食料品	1	2	2	4									3	1			
繊維工業																	
衣服・繊維製品																	
木材・木製品																	
家具・装備品																	
パルプ・紙・紙加工品																	
印刷・製本業																	
化学工業																	
土石製品				1						1							
鉄鋼業																	
非鉄金属																	
金属製品																	
一般機械器具																	
電気機械器具																	
輸送用機械等																	
電気・ガス・水道																	
その他の製造	3	1	1														
鉱業	0	0	0	0	±0	±0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土石採取																	
建設業	10	10	10	16	+6	+60.0	3	2	0	1	0	3	3	3	1	0	0
土木工事	2	3	3	2				1				1					
建築工事	7	6	6	10			3	1		1		1	1	2	1		
うち木造建築工事業	4	4	4	6			2			1				2	1		
その他の建設業	1	1	1	4								1	2	1			
運輸交通業	3	1	1	5	+4	+400.0	1	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0
鉄道・旅客・ほか	1																
道路貨物運送業	2	1	1	5			1	2							2		
貨物取扱業	0	0	0	0	±0	±0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
陸上貨物取扱業																	
港湾荷役業																	
農林業	4	2	2	2	±0	±0.0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農業				1			1										
林業	4	2	2	1				1									
畜産・水産業	7	7	7	4	-3	-42.9	0	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0
畜産業																	
水産業	7	7	7	4				2	1						1		
その他の事業	25	29	29	30	+1	+3.4	5	6	3	0	0	2	1	2	7	3	1
小売業	6	5	5	5				1						1	2	1	
飲食店		1	1	2			1										1
社会福祉施設	6	11	11	10			1	2	1			1		4	1		
旅館業	3	2	2	1				1									
上記以外の事業	10	10	10	12			3	2	2		2		1	1	1	1	
合計	53	52	52	62	+10	+19.2	10	13	4	1	1	5	7	6	11	3	1
前年同期							4	10	4	2	1	2	4	7	12	2	4

休業4日以上の労働者死傷病報告及び死亡災害を基に集計、○内は数字は死亡災害の件数を表す

労働災害防止のためのチェックリスト

(安全作業のために点検及び徹底していただく重点事項)

1 共通事項

(点検事項)

- ① 作業場所の整理整頓、通路が安全な状態に確保されていますか
- ② リスクアセスメントによるリスクの低減措置が講じられていますか
- ③ 作業に応じた用具や道具、保護具を使用していますか

(徹底事項)

- ① 安全作業に必要な教育を行うこと（手順や守るべきルール等）
- ② 安全管理者（安全衛生推進者）、作業主任者に職務を励行させること
- ③ 指差し呼称や共同作業時の合図による確認作業を行うこと

2 災害別重点事項

(1) クレーン作業に伴う災害 ※「玉掛け作業の安全に係るガイドライン」参照

(点検事項)

- ① 適切なつり具や玉掛け用具を使用していますか（安全係数等考慮）
- ② つり荷が落下しないよう確実に固定されていますか
- ③ 荷の運搬経路やつり荷の下に作業者を立ち入らせていませんか

(徹底事項)

- ① クレーンの能力や玉掛け用具の制限荷重を超えて使用させないこと
- ② つり荷に応じた作業手順を定め、これによる作業を行わせること
- ③ 作業指揮者等を配置し、常につり荷の状態等を監視させること

(2) 機械へのはさまれ・巻き込まれ災害

(点検事項)

- ① 機械の刃や回転部分などの危険箇所が覆われていますか
- ② 非常停止装置の設置や安全装置の機能が有効に保持されていますか
- ③ 操作手順や安全上の注意事項を見やすい場所に掲示していますか

(徹底事項)

- ① 材料の詰まりや掃除、点検修理では機械を停止（電源オフ）すること
- ② トラブル発生時には管理者に連絡し、対応の指示を受けること
- ③ 機械の状態を表示（運転中や故障中など）し、作業員へ周知すること

(3) 設備等からの墜落・転落災害

(点検事項)

- ① 十分なスペースの作業床が確保されていますか
- ② 作業床の端等には、丈夫な手すりや安全帯の取付設備がありますか
- ③ 高所で作業する場合に保護帽や安全帯を装着（使用）していますか

(徹底事項)

- ① 作業の都合で手すりを外した場合には、確実に復旧させること
- ② はしごや脚立の正しい使い方の掲示や教育を行うこと
- ③ 監視者を配置するなどにより単独作業は行わせないこと

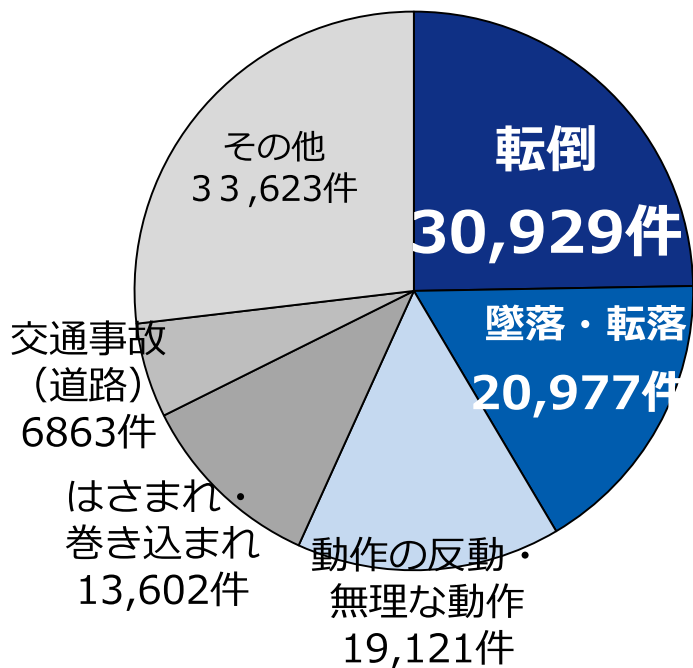
※ 作業前のミーティング等で☑チェックし、安全作業の確認を行ってください。

注) 安全帯は、平成31年2月1日から「墜落制止用器具」に変更されています。

事業主の皆さまへ

安全・安心な職場づくり に取り組みましょう

職場における労働災害（年間125,115件）



転倒
全体の
25%



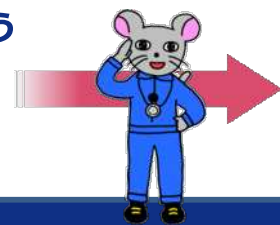
出典：令和2年 労働者死傷病報告より
（新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除く）

職場での転倒災害の状況



出典：令和2年 労働者死傷病報告より

安全・安心な職場づくりのために、裏面の対策に取り組みましょう



安全・安心な職場づくりのため 転倒防止の対策に取り組みましょう

作業場所の 整理整頓



作業場所の 清掃



毎日の運動



危険箇所の 見える化



手すりの 設置



滑りにくい 靴の着用



厚生労働省

ひと、暮らし、みらいのために
Ministry of Health, Labour and Welfare

従業員が安全・安心して働くために

整理・整頓 清掃・清潔

見た目にきれいなだけでなく、つまづいたり転んだりすることも減りました



厚生労働省のホームページで4S（整理・整頓・清掃・清潔）の方法を公開しています。



危険の見える化

危険の原因が誰から見てもわかるので、事故やケガが減りました

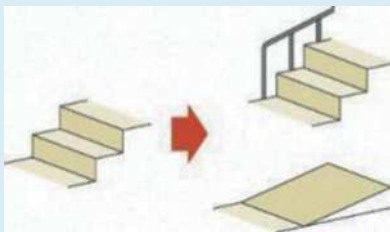


職場のあんぜんサイト『危険箇所の表示等の危険の「見える化」』を参考にしてください。



設備の改善

滑らず蒸れない靴のおかげで快適！
手すりの設置や段差を改修して安心！



職場環境の改善等のために、エイジフレンドリー補助金をご活用ください。

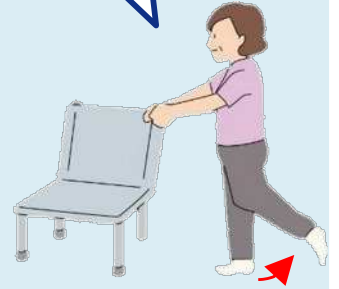


転倒・腰痛 予防体操

足を前に



足を後ろに



YouTubeで、転倒・腰痛の予防に役立つ「いきいき健康体操」をご覧ください。



あなたの職場は大丈夫？ 転倒の危険をチェックしてみましょう！

チェック項目		<input type="checkbox"/>
1	通路、階段、出口に物を放置していませんか	<input type="checkbox"/>
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	<input type="checkbox"/>
3	通路や階段を安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されていますか	<input type="checkbox"/>
4	靴は、すべりにくくちょうど良いサイズのものを選んでいませんか	<input type="checkbox"/>
5	転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	<input type="checkbox"/>
6	段差のある箇所や滑りやすい場所などに、注意を促す標識をつけていませんか	<input type="checkbox"/>
7	ポケットに手を入れたまま歩くことを禁止していますか	<input type="checkbox"/>
8	ストレッチや転倒予防のための運動を取り入れていますか	<input type="checkbox"/>
9	転倒を予防するための教育を行っていますか	<input type="checkbox"/>

チェックの結果は、いかがでしたか？

問題のあったポイントが改善されれば、きっと作業効率も上がって働きやすい職場になります。どのように改善するか「安全委員会」などで、全員でアイデアを出し合いましょう！